

いいだ 市議会だより

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町

No. **188**

平成25.10.22



R100
古紙配合率100%紙

第3回定例会開催
ズバリ市政を問う(一般質問)
行政評価・提言

2

4

5

10

今年60周年を迎えた りんご並木の収穫の様子

第3回定例会

平成25年度飯田市一般会計補正予算(第2号)案など 32議案を可決・同意・認定



本会議の様子

定例会のあらまし

第3回定例会を、8月27日から9月24日まで29日間の会期で開催しました。

平成24年度飯田市一般会計及び特別会計の決算認定案件15件が上程され、いずれも認定しました。

また、平成25年度飯田市一般会計補正予算(第2号)案など17件が上程され、うち4件は報告を受け、人事案件4件を本会議で同意、9件は所管の委員会で慎重な審査を経て、本会議でいずれも原案のとおり可決しました。

請願・陳情については、請願1件、陳情5件が提出され、最終日の本会議での委員長報告のうち3件に対して反対の意思表示がありました。

採決の結果、賛成多数で委員長報告のとおり、陳情第1号は不採択、陳情第2号は採択、陳情第5号は不採択となりました。

また、一般質問では18人の議員が市政全般にわたる質問を行いました。4ページから紹介します。

議案に対する質疑と審査

提出議案等については、総務、社会文教、産業建設の各常任委員会に付託し、集中的に審査しました。

質疑等の内容は、6ページからの各常任委員会のページで紹介します。

本会議での反対の意思表示

委員会における陳情の審査結果に対し、本会議で反対の立場から意思表示がありましたので紹介します。なお、陳情の詳細は各常任委員会のページをご覧ください。

陳情第1号 (社会文教委員会で審査)

国に対し、生活保護基準の引き下げはしないよう求める意見書を提出願いたい。

不採択としたことに反対

陳情第2号 (総務委員会で審査)

国に対し、予定される消費税増税に当たり複数税率を導入し、新聞には軽減税率を適用するよう意見書を提出願いたい。

採択としたことに反対

陳情第5号 (総務委員会で審査)

国に対し、憲法改正を容易にするために第96条を改正して発議要件を緩和することに反対することを求める意見書を提出願いたい。

不採択としたことに反対

同意した人事(敬称略)

- 教育委員会委員 伊藤 昇
- 人権擁護委員候補者推薦 川手 重光
- 東野財産区管理委員 久保田芳輝
- 千代財産区管理委員 楯 勝幸

平成24年度飯田市各会計の決算を認定

(単位：千円)

会 計 名	歳入決算	歳出決算	差 引	
一 般 会 計	43,919,342	42,758,045	1,161,297	
国民健康保険特別会計	事業勘定	9,842,089	9,555,426	286,663
	直診勘定	3,956	3,954	2
後期高齢者医療特別会計	1,181,446	1,138,383	43,063	
介護保険特別会計	9,929,564	9,925,130	4,434	
地方卸売市場事業特別会計	20,779	16,969	3,810	
駐車場事業特別会計	74,987	64,064	10,923	
墓地事業特別会計	22,301	19,717	2,584	
簡易水道事業特別会計	166,246	161,397	4,849	
下水道事業特別会計	4,258,643	4,056,296	202,347	
介護老人保健施設事業特別会計	638,821	602,436	36,385	
上村デイサービスセンター特別会計	28,336	25,423	2,913	
ケーブルテレビ放送事業特別会計	134,365	128,236	6,129	
	14,942,219	15,567,211	△ 624,992	
病院事業会計	収益的支出	11,840,415	11,469,595	370,820
	資本的支出	3,101,804	4,097,616	△ 995,812
	2,359,809	2,934,820	△ 575,011	
水道事業会計	収益的支出	1,937,687	1,880,444	57,243
	資本的支出	422,122	1,054,376	△ 632,254
特別会計の計	43,603,561	44,199,462	△ 595,901	
合 計	87,522,903	86,957,507	565,396	

市の会計には、基本的な行政運営の経費を經理する一般会計と特定の行政サービスを提供するための経費を經理する特別会計とがあります。特別会計には国民健康保険、介護保険、下水道、水道、病院など14の会計があります。平成24年度の決算において、一般会計と特別会計を合わせた歳入の合計は、875億2千2百万円余、歳出の合計は869億5千7百万円余となり、差し引き5億6千5百万円余の黒字となりました。決算については、各委員会に付託し、審査の上認定しました。

政務調査報告

政務活動費を活用し、25年5月から9月までに実施した各会派の調査研究の概要です。

9月24日には、政務調査研究報告会を議場で行いました。

■詳細は飯田市議会公式ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.city.iida.lg.jp>



政務調査報告会の様子

会派のぞみ

■実施日 7月29日(月)～31日(水)

■調査事項

- ・弘前市の先駆的観光政策について (青森県弘前市)
- ・全天候多目的大空間施設整備大館樹海ドームについて (秋田県大館市)
- ・能代ふれあいプラザ・サンピノについて (秋田県能代市)
- ・JAXA能代ロケット実験場の視察について (秋田県能代市)
- ・秋田市子ども未来センターの現状について (秋田市)

市民パワー

■実施日 8月7日(水)～9日(金)

■調査事項

- ・福祉分野における地域づくり事業について (北海道釧路市)
- ・釧路市スポーツ合宿受入れ事業について (北海道釧路市)
- ・鉄道を活かしたまちづくりについて (北海道岩見沢市)

日本共産党

■実施日 7月31日(水)～8月1日(木)

■調査事項

- ・御前崎市における耕作放棄地対策の調査について (静岡県御前崎市)
- ・健康寿命女性日本一までの取組みについて (静岡県吉田町)
- ・リニア計画に伴う水資源問題等の調査について (山梨県笛吹市)

会派みらい

■実施日 8月1日(木)～3日(土)

■調査事項

- ・移住定住政策について (北海道安平町)
- ・「いわない楽座」の取組みについて (北海道岩内町)
- ・買い物弱者に対する民間事業者の取組みについて (北海道札幌市)

市政を問う!

一般質問とは、市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来的な方針などを質し、説明を求めるものです。第3回定例会での一般質問の概要を紹介します。(質問順)

※は、そのほかの質問項目

恒川遺跡群とリニア飯田駅のコラボレーションは考えられないか

吉川 秋利議員(会派のぞみ)

Q 当地にしかないリニア駅及び駅周辺の地域を創っていくために、恒川遺跡群を生かした、積極的なビジョンが必要と考えるがどうか。

A かつて東西の交通の結節点であり、文化の融合点として重要な役割を果たした当地域の役割が、リニア時代に再びよみがえることに繋がればよいと考える。当地域の独自の景観や、素晴らしい歴史文化の財産を生かし、訪れた方々が二千年の歴史を感じる事ができるような周辺整備を進めてまいりたい。

就農支援への取組みは

竹村 圭史議員(会派のぞみ)

Q 農業は「食」に直結する重要な産業であると踏まえたときに、就業支援をはじめとする農業振興施策を、重点項目として引き続き取り組んでいくべきと考えるがどうか。

A 地域農業の維持の面から、また、遊休農地対策の面からも、新規就農の受入れは重要な取り組みであると考え。多くの新規就農者の受入れは、農業の技術的支援のみならず、日常生活支援など、地域の皆様のご理解ご協力があったものと考える。市としても地域と連携して、各地域の積極的な取り組みを支援したい。

民生・児童委員選任に係る今日的課題は

原 和世議員(会派みらい)

Q 民生・児童委員の改選にあたり、定数に達していない状況があると聞くが、担い手の確保に向け、何らかの対策を講じていく必要があると考えるがどうか。

A 当市に限らず、全国的にも担い手の確保が問題になりつつあり、民生児童委員の役割のあり方や活動範囲について、全国レベルの組織で研究を始めたところ。市としてもそれらを参考にしながら現状を分析し、検討していく。なお、定員増や、活動費算定基準の増額等は関係機関に改善を申し入れている。

リニア飯田駅と中心市街地とのアクセスは

福沢 清議員(会派みらい)

Q リニア飯田駅と中心市街地とのアクセスは、この秋のリニア飯田駅位置の発表により、市民との一体感を創るためにも、早急に計画を策定する必要があると考えるがどうか。

A 道路網の整備については、勉強会という形で、国、県、市町村の担当者レベルの話し合いが進められている。交通アクセスを含めた駅と中心市街地のあり方については、市としてしっかりと対応することが必要だと認識している。
■リニア中央幹線工事に伴う発生土について
■空き家対策について

投票率向上に向けた取組みは

村松 まり子議員(公明党)

Q 期日前投票に必要な宣誓書を、投票所入場券裏面に印刷し、選挙人の利便性向上を図る自治体が増えているが、市でこのような手法を取り入れることはできないか。

A 投票所入場券は、世帯単位で約3万9千世帯に郵送をしている。現在のハガキ形状の入場券に宣誓書をもうけると、のり付けの二つ折から、三つ折りの三連圧着式に変更する必要がある。費用対効果を勘案する中で検討していきたい。
■地域医療の充実について

道の駅整備の考えは

湊 猛議員(会派のぞみ)

Q 道の駅「遠山郷」は、かぐらの湯日帰り温泉施設を、国道バイパス開通後に道の駅として申請したものであり、道の駅の機能として十分でないと考え。三遠南信自動車道全線開通を見据え、拡張計画はあるか。

A 道の駅「遠山郷」は、長野県の南の玄関口として非常に重要な拠点となる。南の玄関口としてどうあるべきかなど今後のあり方については、「遠山郷観光戦略計画」を策定された皆さんや、まちづくり委員会など地域の皆さんのご意見もお聞きする中で議論を深めてまいりたい。
■飯田市の建設整備事業について

スポーツ合宿受入れの取組みは

清水 可晴議員(市民パワー)

Q 遠山郷にある既存施設の有効活用策として、遠山郷一帯にスポーツ合宿等の受入れ体制を整備し、能動的に取り組むための行政支援を講じたらどうか。

A 遠山郷には、合宿に適した施設がいくつかある。また、南アルプスや中央構造線ジオパークなどの自然文化や、霜月祭などの民俗文化が豊かな地域であり、スポーツに限らず、学術的な合宿利用も視野に入れながら、指定管理先や地元関係団体とともに検討してまいりたい。
■「特殊詐欺」等の消費生活相談の現状と対策について

事務事業実績評価表は生かされているか

山崎 昌伸議員(無会派)

Q 事務事業実績評価表について、次年度以降の事業展開に生かされにくいと思われる評価表が散見される。評価表の作成は、同時に人材育成の場にもなり得るが、そのような視点があるか。

A 事務事業実績評価表において、振り返りや改革改善の内容に不十分なものがあつたことについては改善したいと考えている。事務事業評価は、その事業に対し説明責任を持つことであり、それが人材育成にもつながると考えている。今後、P D C Aサイクルをより意識して、取組みを発展させていきたい。
■安心・安全のまちづくりについて
■選挙におけるコストダウンについて

協働のまちづくりの取組みは

森本 政人議員(市民パワー)

Q 能動的に活動をしているNPOに使い勝手の良い「たまり場」を提供することにより、市民に対して多様な参加の機会が保障され、基本構想にある参加協働の原則が達成できると考えるが、市として市民活動サポートセンター設置の構想はあるか。

A 市内には現在60ほどのNPO法人が活動している。当市では、NPOの活動をサポートするNPO法人や、ムトス飯田推進委員会と担当する市の事務局職員との

連携体制を整えて、実情に即したサポート体制をとっており、サポートセンターの機能を果たしていると認識している。

■いいだ成年後見支援センターの現状と今後の課題について

介護保険制度に対する考えは

古川 仁 議員（日本共産党）

Q 平成27年度からの次期介護保険制度について、国の社会保障制度改革国民会議の報告書に要支援1・2を介護保険の対象外とすることが示されたが、市の考えは。

A この扱いについては、決定されたものではなく、今後も国レベルの議論がされるものと考えている。予防サービスがなくなるにより、介護度が進んでしまう恐れもあり、また保険者である市が独自サービスを提供するには、財源確保をはじめ多くの課題があると考えている。軽度認定者の保険給付継続は、県市長会の議題として協議されており、国に対し継続を要望する。

飯田市の配食事業について

湯澤 啓次 議員（会派のぞみ）

Q リニア環境影響評価準備書公表後は様々な動きが進んでいく。その中で、リニア推進ロードマップは今後の羅針盤となっていくものと考えられるが、準備書の内容をどのように落とし込んでいくのか。

A リニア推進ロードマップは、リニア本體工事、関連付帯事業、戦略的地域づくりが三本柱となっている。準備書公表後は、具体的な状況と進めを進めることになり、地域の状況や希望を確認し、関連団体との連携を深め、整備していくことが必要と考える。

猛暑における小中学校への対策は

永井 一英 議員（公明党）

Q 夏の異常高温傾向が毎年恒常化しており、児童生徒の健康や学習環境の悪化が危惧されるが、市内の小中学校への対策はどうか。

A 異常ともいえる夏の暑さは毎年繰り返されておられ、来年も厳しい暑さが続くことが想定され、児童生徒が学ぶ環境を確保することは大事な課題であると考えている。現在まだ一部の教室に扇風機の配置ができない学校もあるので、当面は普通学級や特別支援教室に扇風機を設置していきたい。

■いわゆる「子ども・子育て関連3法」の本格施行に向けての対応について

障害者総合支援法における自己負担の現状は

小倉 高広 議員（日本共産党）

Q 障害者総合支援法における自己負担について、補助制度を設けている町村もある。市も補助制度を創設すべきと考えるがどうか。

A 障害者総合支援法に基づくサービス利用者が増加傾向にあるなかで、サービス事業やサービス提供事業者のレベルアップや充実を通じて、利用される皆さん全員がより良いサービスを受けられるような支援を行っていきたい。

鳥獣被害対策について

熊谷 泰人 議員（会派のぞみ）

Q 鳥獣被害の対策として、広域での対応、捕獲従事者確保などの点からも、関係団体による対策本部の設置や、捕獲隊、パトロール隊結成などの組織強化を考

えてはどうか。

A 現在、鳥獣被害対策を進める体制としての知見の活用のため、サルなら信州大学などとの連携を深め被害対策を進めている。一方で広域的な対策は進んでいない部分であり、関係する団体・機関連携は大事な課題であると受け止めている。

■コーディネーショントレーニング（COT）について

中山間地域振興計画と農振除外について

清水 勇 議員（会派のぞみ）

Q 農振除外に関する規定が、中山間地域振興計画に掲げられている農業の担い手確保や、若者の定住促進にそぐわない面がある。運用について市はどのように考えるか。

A 中山間地域に限らず、地域において農地を守ることや、農業の後継者対策は重要なことだと考えている。農振農用地の除外と、優良な農地の確保にあつては、関係法令等を順守しつつ、どのようにバランスを取って行っていくかが非常に重要なことと考えている。

ふるさと納税の取組みは

木下 容子 議員（市民パワー）

Q ふるさと納税の納付方法に、クレジットカード収納やコンビニ納付など、納付者が気軽に納付できる方法を導入できないか。

A 現在は、現金書留、納付書での納付をお願いしている。納付環境の充実には、ご寄附いただく方の負担を減らすことになり、更なるご寄附につながることを考える。当市においても他の自治体の例も参考にしながら、クレジットカード収納などの可能性について研究し、早期実現に努めたい。リニアを活かした都市整備と交流人口増加策について

営農対策について

木下 克志 議員（会派のぞみ）

Q 高齢化する地域農業の就農者に対して、市はどのような支援をしているか。

A 市内16地区に農業振興会議を設置し、集落の話し合いによる集落複合経営の推進や、集落内の耕作放棄地をモデル的に解消する事業など、地域の創意工夫で農業振興を図る事業を行っている。市としては事業助成のほか、職員を配置し地域と一体となった活動に取り組んでいる。

リニア中央新幹線工事中の対応は

後藤 莊一 議員（日本共産党）

Q リニア中央新幹線の工事については、発生土の運搬による交通への影響や、トンネルの掘削による水枯れなど市民生活への影響が予想されるが、市はどのように対応するか。

A 今後、事業が具体化することにより、影響を受ける地域の状況、工事方法等による課題が明らかになる。工事における様々な課題については、今までの大型公共工事の経験を踏まえ、市として事業者との協議にしっかりと取り組んでいく。

■飯田市行政改革大綱における改革プランについて

いいだ市議会だより掲載内容の訂正について

第187号（平成25・7・23発行）

5ページ木下徳康議員の質問に対する回答で、市所有の排水ポンプ車を「3台」と掲載いたしました。ポンプ車の所有台数については、「2台」でしたので、訂正をいたします。

総務委員会

6月26・27・28日に管外視察、7月23日、9月9日、24日に委員会を開催しました。委員会での質疑、管外視察の様相を紹介します。

議案第100号

旧飯田測候所条例の制定について

案件の概要

旧飯田測候所を公の施設として位置づけ、指定管理による施設管理を行うための条例を制定する。

Q 市として、低炭素なまちづくり及び協働によるまちづくりの推進を実現するために、どのような指定管理を行うか。

A 2009年に認定を受けた環境モデル都市の行動ビジョンである「おひさまとりのエネルギーが育む低炭素な環境文化都市の創造に向けて」に理解と実績のある団体を公募により、指定していきたい。

Q 午後10時まで開館することだが、旧測候所の場所から考えると安全面で心配ないか。

A 公民館並みの開館としたが、特に夜間については、外灯や駐車場の施設等により安全面を確保したい。

議案第108号

平成24年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について

電子入札導入に必要な経費は

Q 県などが導入している電子入札制度について、市が導入する場合の経費はどのくらいか。また、県の利用実態はどうか。

A 県の制度を共同利用した場合、初期費用として3百60万円、維持費用として年間百万円と見込んでいる。県では、従来の方法との併用で約8割が電子入札となっている。

リニア中央新幹線飯田駅整備 備推進基金の現在高は

Q リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金積立金を3億円余積み立てたが現在高は。また、世界に発信できる自分たちの駅を自分たちで作る気運を高める意味で、募金や寄附に取り組むべきではないか。

A リニア基金積立金の現在高は、9億円余である。寄附金は商工会議所で取り組んできた経過があるが、県・伊那谷・南信州のそれぞれが主体となって今後も取り組んでいきたい。

請願・陳情審査 市民の願いはどようになった

陳情第2号

★陳情者

信濃毎日新聞飯田下伊那販売会
会長 田中章夫

■慎重な審査の結果 「採択」としました

★意見書の提出
新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書として関係行政庁へ提出しました。

★委員会での主な意見

○情報や知識を得る上で新聞の持つ役割は大切で消費税増税に当たっては軽減税率を適用すべきで、採択。
○食料品なども含め生活必需品には軽減税率を適用すべきで、採択。
○消費税増税を前提としており、不採択。

○新聞は民主主義を支えるツールのひとつではあるが消費者には選択肢があり、陳情には、販売店経営の視点も含まれていて、不採択。
○消費税増税に当たっては複数税率を導入し、軽減税率を適用することの必要性はわかるが、対象の公平性の観点から検討不足であり、趣旨採択。

陳情第5号

★陳情者

飯伊平和委員会 代表 佐藤 功

■慎重な審査の結果 「不採択」としました

★委員会での主な意見

○憲法改正論議は、国レベルで議論されているがその改正を定める第96条の発議要件を緩和する改正を先行させることはあってはならず、これに反対する当陳情は、採択。
○憲法改正については、地方議会で判断すべき問題ではなく、陳情趣旨の文中に不適当な表現もあり、不採択。

○当陳情は、第96条の改正とはある



NPOせんだいファミリーサポート・ネットワークでの視察の様子

実施日：6月26日(水)～28日(金)

調査項目

- (1) 未来を創る市民力の拡大と新しい市民協働の推進について [宮城県仙台市]
- (2) 公共施設の経営改革について [宮城県仙台市]
- (3) 子育てファミリーのための地震防災ハンドブックの取組みについて [NPOせんだいファミリーサポート・ネットワーク]
- (4) 住基カード普及促進について [福島県会津若松市]

管外視察を実施しました

が、陳情趣旨に前文、第9条、第13条の変更への危惧にまで及んでおり、不採択。
○改正要件の厳格な憲法改正の手続きは慎重であるべきだが、陳情趣旨に賛同できない表現もあり、継続。

社会文教委員会

7月1・2・3日に管外視察、7月23日、9月11日、12日に委員会を開催しました。委員会での質疑、管外視察の様相を紹介します。

議案第106号

平成25年度飯田市一般会計補正予算(第2号)案

民間保育所の保育士等処遇改善補助金は臨時的な支出か

Q 民間保育所の保育士等処遇改善に補助金を支出することだが、一過性のものか、それとも恒久的に行うか。

A いわゆる「子ども・子育て関連3法」の本格施行に向けて、将来的に検討されることになる。

議案第108号

平成24年度一般会計歳入歳出決算認定について

飯田市の老朽化対策の見通しは

Q 特別養護老人ホーム運営支援事業費に、特別養護老人ホーム飯田荘の施設老朽化対策の今後の見通しは。

A これまでも様々な検討をしてきたが、次期介護保険事業計画の中で飯田荘の具体的な整備について示したい。

学校施設の老朽化対策の予定は

Q 学校施設維持改修事業に関し、学校施設が老朽化してきていると思うが、その対策はどうか。

A 重点的に進めていた学校施設の耐震化が終わり、24年度から大規模改修事業に再び着手した。今後も計画的に進めていく。

英語教育推進のためのビジョンはあるか

Q 英語教育推進事業費に関し、市は小さな世界都市を掲げているが、それに向け、英語教育を推進するビジョンはあるか。

A 2020年の東京オリンピック開催を催やりに中央新幹線開通に向け、具体的にどうするかは、課題である。

請願・陳情審査市民の願いは怎么样了

陳情第1号

★陳情者

飯伊生活と健康を守る会
会長 中島秀夫 ほか1名

■慎重な審査の結果

「不採択」としました

★委員会での主な意見

○既に生活保護基準の引き下げが行われている状況だが、趣旨もわかるので、趣旨採択。

○今の時点で生活保護費が削減されており、陳情項目は現状にそぐわないが、今年度から3年をかけて引き下げられるため、それを踏まえて、採択。

○生活保護制度を含め持続可能な社会保障制度を堅持するために、断腸の思いであるが、不採択。

○陳情理由が、生活保護法の改正、生活困窮者自立支援、子どもの貧困防止といったセーフティネット全体からの見地を踏まえたものではないこと、また、現時点でこの陳情項目はそぐわないことから、不採択。

陳情第3号

★陳情の趣旨

国に対し、国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書を提出願いたい。

★陳情者

飯田市学校教職員組合
執行委員長 玉置研介

■慎重な審査の結果

「採択」としました

★意見書の提出

国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書として関係行政庁へ提出しました。

陳情第4号

★陳情の趣旨

国に対し、「義務教育費国庫負担金制度」の堅持を求める意見書を提出願いたい。

★陳情者

飯田市学校教職員組合
執行委員長 玉置研介

■慎重な審査の結果

「採択」としました

★意見書の提出

「義務教育費国庫負担金制度」の堅持を求める意見書として国会及び関係行政庁へ提出しました。

管外視察を実施しました

実施日：7月1日(月)～3日(水)

調査項目

- (1) 小中一貫教育について [広島県呉市]
- (2) 障がい者千人雇用について [岡山県総社市]
- (3) 買い物弱者支援について
～買い物サポートさえきの取組み～ [岡山県和気町]
- (4) 地域包括ケアシステム尾道方式について [広島県尾道市]



和気町での視察の様子



市の様子
の視察の様子

産業建設委員会

7月9・10日に管外視察、7月24日、9月13日、17日、24日に委員会を開催しました。委員会での質疑、管外視察の様相を紹介します。

議案第106号

平成25年度飯田市一般会計補正予算(第2号)案

マイクロ水力発電の実施予定は

Q 新エネルギー推進リーディング事業におけるマイクロ水力発電は、千代地区に続き、どこで実施を考えているか。

A 今後、伊賀良井、上郷大井で実証実験をしていく。

鳥獣の捕獲奨励金の支払先は

Q 農作物被害対策事業について、鳥獣の捕獲報奨金の支払先は、個人か。

A 猟友会に支払っている。

議案第108号

平成24年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について

合併浄化槽使用に関する指導は適切か

Q 合併浄化槽普及促進事業に関して、合併浄化槽使用にあたって、市は適切な指導をしているか。

各部門の今後の見通しは

Q 青果と水産の各部門の今後の見通しはどうか。

A 大型店舗における市場外取引の増加や地域の中小店舗の減少により卸売市場の取り扱いが減少しつつある。

議案第116号

平成24年度飯田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

雨水浸透ますなどの設置を下水道会計とした理由は

Q 雨水貯留槽と雨水浸透ますの設置を下水道事業で行っている理由は。

A 当該事業は国庫補助対象であるため、一般会計の事業ではなく、下水道事業として実施している。

請願・陳情審査 市民の願いはどうなった

請願第3号

★請願の趣旨

国に対し、長野地方裁判所支部における労働審判の開設を求める意見書を提出したい。

★請願者

長野県弁護士会 会長 諏訪雅顕

■慎重な審査の結果

「採択」としました

★意見書の提出

長野地方裁判所支部における労働審判の開設を求める意見書として関係行政庁へ提出しました。

管外視察を実施しました

実施日：7月9日(火)・10日(水)

調査項目

- (1) 小型家電リサイクル事業について
ハリタ金属株式会社
[富山県射水市]
- (2) シティプロモーション事業について
[富山県富山市]
- (3) まちなみ保存事業について
[石川県輪島市]
- (4) 小型家電リサイクル事業について
羽咋郡市広域圏事業組合
[石川県羽咋市]



射水市での視察の様子

富山市での視察の様子



リニア推進特別委員会

9月19日に開催し、リニア中央新幹線計画の現状と今後について報告があり、協議しました。また10月2日の委員会では、リニア中央新幹線環境影響評価準備書に対する意見の提出について協議しました。



出典：リニア中央新幹線環境影響評価準備書 抜粋加工

9月19日

会議では、18日にJR東海から示されたリニア中央新幹線環境影響評価準備書の概要及び経過説明があり、あわせて、長野県内ルート及び長野県駅位置が示されました。

出された質問は次のとおりです。

Q 準備書に関し、騒音、振動対策について環境基準との整合を図るよう努めるとあるが、地上区間及び駅の設置が予定されていることを鑑み、景観に配慮した上で、むしろ環境基準を下回る対策を講じさせるべきだが、市の考えはどうか。

A 生活への影響をいかに低く抑えるかを踏まえ意見集約し、意見書を提出していきたい。

Q 地下水や水資源の対応については、準備書に記されているように事後調査ではなく、問題が発生した都度、JR東海に対応を求めたいが、市の考えは。

A 準備書は、3キロ幅の中で環境に与える調査を実施した結果で

あるので、今後必要な箇所については、個別調査するよう求めたい。

Q 非常口（斜坑）が今宮町に予定されているが、付近は通勤や通学の道路がある。実際の工事にあたって市民生活に影響がでると思うがどうか。

A この点についてもJR東海からしっかりと説明を受けたい。地域の状況にあった施工方法をとるよう要望したい。

Q 準備書に対する意見集約の方法は。

A 準備書に対する意見書は、市民誰もがJR東海へ直接提出できる。市としては、リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会として何らかの意見書を提出していきたい。

Q 駅は広大な空き地につくられるのではなく、また、ある程度の駐車場も必要となる。そこに住む人たちの住みづらさの解消のための政策を現時点ではどう考えているか。

A ルートや駅位置が発表され、これから様々な課題が見えてくることになる。それに対し総力を挙げて市役所全体で対応していく。住みにくさの解消に向けての市の

役割はこれからになる。

Q リニア推進ロードマップの第2の柱、社会基盤整備として市が示すとした、たたき台をどう考えているか。

A 駅位置が明らかになった中で、道路軸を示しながら、駅周辺に必要な機能、中心市街地と広域交通拠点としての駅周辺との関係性といった面的な飯田市の都市構造をどう考えるか、都市づくりのたたき台となる考え方を示したい。

Q 子どもたちも関心が高いと思うが、子どもたちの意見を反映する方法は。

A 昨年度も「リニア中央新幹線が走るまち」の冊子を作成、配布し、一緒に考えるきっかけとした。こういった取り組みは大切であり、将来のまちづくりにつながると考えている。

10月2日

JR東海が公表した準備書に対し、市議会として意見集約をすることを決定しました。なお、まとめた意見の提出先について、市側にするかも、併せて検討をすることとしました。

議会による行政評価・提言

平成24年度事務事業について、7月から9月にかけて行政評価を実施しました。施策及び事務事業622件から、31施策、78事業の説明を受け、施策17、事務事業39の計56件について検証し、9月24日に市側へ提言を行いました。

提言の中から主なものを紹介します。

■詳細は飯田市議会公式ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.city.iida.lg.jp>



市長への提言の様子

委員会名	事務事業名	方向性	施策に対する議会の提言
総務委員会	自治活動組織 加入促進支援事業	やり方 改善	<ul style="list-style-type: none"> 各地区の未加入者の内容を把握し、未加入の理由を整理し、コーディネーターと地区委員が連携した取組みとされたい。 転居以外で脱退を希望する世帯に対しても、組合加入の利点について理解を求め、脱退世帯の減少に取り組まれたい。 各地区での取組みについての意見交流を行い、他地区のよい点を取り入れる等の対応をされたい。 市民意識改革の醸成を図るために、地域自治組織全体の見直しを図られたい。
	中山間地域振興事業	やり方 改善	<ul style="list-style-type: none"> 定住促進をめざした、空き家の有効利用と連動する住宅情報の整備と提供を進められたい。 「地域おこし隊」制度など外部人材の活用を検討されたい。 住民主体での特徴ある活動に対して、様々な支援をされたい。 土地有効利用のため、農振除外の緩和を図る市独自の対応策を検討されたい。
社会文教委員会	訪問指導事業	やり方 改善	<ul style="list-style-type: none"> 訪問先家族のなかの、二次予防高齢者の掘り起こしにも貢献できるので、訪問指導時の状況やデータの活用から、「ほいほい介護予防事業」などと連携した、事業サイクルの展開・拡大をされたい。
	愛宕蔵保存活用事業	やり方 改善	<ul style="list-style-type: none"> 取得時の本来の目的であった「歴史的文化的価値を大切にし、市民の財産として保存再生利用する」ことと、蔵の街並みの景観を残すためにも、保存活用方法について積極的な研究をすべきである。 街並みの景観を活かす回遊ルートとして蔵の価値を見出せることから、見学者などに建築的価値がわかるような手立てをされたい。
産業建設委員会	農作物被害対策事業	拡大	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣被害対策を更に強化すべき。 猟友会や警察との連携を図り、住宅地でも使用が可能な捕獲用具の利用の検討など捕獲の工夫をされたい。 モンキードックを増やすための教習所の検討など効果的な対策を講じられたい。 竜西に出没しはじめたシカについても、被害が拡大しないうちに対策を講じられたい。
	天龍峡温泉交流館 管理事業	廃止	<ul style="list-style-type: none"> 当該施設の利用の方向性が明確にならないので、過去の経過も踏まえ事業を廃止すべき。 地元の要望による管理運営、使用にあたっては、指定管理者制度の導入や周辺整備の状況を見据えた利用方法を検討すべき。
	新エネルギー推進 リーディング事業	拡大	<ul style="list-style-type: none"> 制定された再生可能エネルギー条例も活用し、上村小沢川の水力発電事業の成功に向け取り組まれたい。 小水力発電以外にも未利用の新エネルギー活用に向け研究を進められたい。

議会活動フォトレポート



議長記者会見の様子

議長記者会見開催

■期 日 9月26日(木)

■会見内容

- (1) 議会による行政評価・提言について
- (2) 議会報告会について

9月24日に市側に提出した、行政評価に係る提言について、関係する常任委員長出席のもと、説明しました。

平成25年度 議会報告会開催

議会報告会は、今年で6回目となります。自治基本条例に定められた「市議会の責務」を果たすために、議会活動の報告を通し、市民の皆様との情報の共有化を図るとともに、意見交換により政策的な課題を見つけ出し、報告会を起点として政策づくりにつなげてまいります。全議員が参加し、議会としての政策立案能力を高める、重要な機会と位置付けています。

10月2日(水)の遠山ブロックを皮切りに市内6カ所で開催しました。

今回は遠山、西部、中部ブロックの報告会の様子を写真で紹介します。北部、飯田5地区、竜東ブロックの様子は次号でお伝えします。



西部ブロック(三穂、山本、伊賀良地区)第1分科会の様子



中部ブロック(松尾、竜丘、川路、鼎地区)全体会の様子



中部ブロック(松尾、竜丘、川路、鼎地区)第3分科会の様子



遠山ブロック(上村、南信濃地区)第2分科会の様子

議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～日頃の心がけが大切～ 熊谷 泰人

2020年東京オリンピックの開催が決定し日本中が歓喜に包まれました。「スポーツの力ってすごいんだな」と、改めて感じたところです。前回の東京オリンピック、私は10歳でしたが、今でもはっきりと覚えています。お家芸柔道の無差別級で、オランダのヘーシंक選手に日本の神永選手が袈裟固で1本負けしたとき、東洋の魔女と呼ばれた女子バレーボールで、ソ連を破って金メダルを取ったときなど、悔し涙や歓喜の涙を流したものでした。体操日本のウルトラCの演技、自分も選手になった気持ちで、田んぼの稲架にぶら下がっては、「熊谷選手ウルトラCがきました！」などと、自分で実況しては遊んだものでした。それこそ日本中が燃えに燃えたいひと時でした。このオリンピック開催を契機に日本は高度経済成長を続け、世界第2位の経済大国へと発展しました。2020年が日本経済の立て直しになることを期待したいものです。その7年後にはいよいよリニアが飯田を走ります。



～星空ウォッチング～ 湯澤 啓次

我が家は、公表されたリニア飯田駅予定地から僅か数百m離れた位置にあります。私の密かな愉しみの一つは自宅のベランダから星空を眺めることです。私の住む座光寺中段はかなり都市化が進んでいるのですが、田圃に接する我が家からは辛うじて天の川を見ることができます。この夏も白鳥座～わし座～たて座へと流れる天の川を何度も眺めることができました。空気の澄んだ夜は、望遠鏡を取り出し、星雲星団ウォッチングを愉しんでいます。砂金を散りばめた散開星団、星が密集した球状星団、神秘的な惑星状星雲などを夜空の中に見つけ眺めていると、悠久の時空を感じ一日の疲れから解放されます。「日本一の星空」を求め、しらびそ高原や阿智村へ全国から観光客が訪れていますが、飯田市がリニア時代に『残したい宝物』が私達の身近な夜空にも在ります。

議会報告会へ参加いただき ありがとうございました。

10月2日から市内6か所で、議会報告会を開催いたしましたところ、多くの皆さんにご参加いただきました。報告会で寄せられた、みなさんのご意見は、議会日より第189号において、掲載させていただきますとともに、今後の議会運営にいかしてまいります。

本会議、委員会とも個人・団体で自由に傍聴いただけます。市政運営や議会活動の様子を知ることが出来る絶好の機会ですので、ぜひ傍聴にお越しください。事前予約は不要ですが、団体等大勢での傍聴は事前に議会事務局に連絡をお願いします。



市議会ウォッチング



議会中継を しています

本会議の様子は飯田ケーブルテレビデジタル714chで中継しているほか、一般質問の様様をユーストリーム(インターネットによるオンライン動画配信サービス)で中継しています。ユーストリームは録画映像も見られます。ぜひ、ご覧ください。<http://www.city.iida.lg.jp/>

編集後記

去る9月8日早朝、2020年オリンピック開催地が「東京」と決定しました。大変うれしく思います。また18日には、JR東海がリニア中央新幹線環境影響評価準備書を発表し、県内駅は上郷飯沼、国道153号線付近となることが示されました。課題も多いですが、これからが「正念場」であり、他の地域にはない「チャンス」を生かして、継続可能な地域づくりに積極的に取り組みます。広報広聴委員会では皆さんの意見をしっかりお聞きし「市民と議会の架け橋」となる広報を目指します。

議会の動き(予定)

- 議会への請願・陳情の締め切りは
11月21日(木) 午後5時です。
議会事務局へ提出してください。
- 第4回(12月)定例会は11月27日(水)開会です。

広報広聴委員会

委員長	木下 容子	副委員長	湊 猛
委員	木下 徳康		古川 仁
	新井信一郎	福沢 清	村松まり子